

令和3年度 第2回学校運営協議会議事録概要

日時 令和3年12月2日(木) 14:00~16:00

場所 オンラインによる開催

1. 開会のあいさつ(校長)

ギガスクールの状況、すべての生徒を置いていかない教育へ。行事すべて実施できた。

2. 学校経営計画などについて

(1) 進路状況について(資料4ページ目)

- ・進学割合がここ数年増えている。中でも専門学校への進学が増えている。
467社から求人、27社増えた。639名の募集。コロナの影響はそこまで大きく出ていない。
合格率の目標90%には届かなかったが大阪の工業高校では第3位の実績。
大学は工業系が10名ほど、その他は多岐にわたる。専門学校は工業系が14名、メディアで12名。
- ・2年生の進路への動きも始まっている。

(2) 学校経営計画の進捗状況について

○人間力の育成(堀江 t)

- ・基礎学力の自己評価は教員、生徒の回答では下がっている。
 - ・年間遅刻件数がここ数年横ばい。学年、生活指導で対策を検討中。特別指導件数は昨年度の約半減。
- ご意見：・遅刻は授業日数の関係で分かりにくくなっているため、率でとれば早く対策が打てるのでは。
- ・生徒会活動について生徒の満足度77%。主な行事が実施前のアンケートのため改善される可能性あり。

○工業教育の充実(小寺 t)

- ・企業等連携による専門系授業の充実について、今年度も肯定率は高い。
- ・各種技能コンテストへの挑戦について、優勝はなかったが、ほとんどが上位入賞する結果。
- ・CEと探究と課題研究でPBL学習を行う。今年度委員会で計画、指導案作成中。
- ・専門教育への興味関心を高める取り組みの推進として、10月に学校見学会、12月に学校見学会(今年度から、前回の協議会でのご意見をうけて、1年生2年生も参加できる見学会として実施)

○教員の資質向上(安井 t)

- ・コロナ下でアクティブラーニングは難しいが徐々に進めている。ICTの活用も進んでいる。
- ・会議への肯定率が低いので意識を変えていかないといけない
- ・堺の伝統工芸士との連携は継続(生徒は一人一本刃物をつくる)。古墳の水質調査は継続。

(3) 再編整備計画の進捗状況について(堀江 t)

- ・課題解決型学習の3年間のモデルについて
- ・予算要求項目について
- ・中学生向けリーフレットのポイントは3つの柱。環境科学システム系で企業と連携した水耕栽培検討。

(4) 学校教育自己診断、授業アンケート、令和4年度入学希望者について

○学校教育自己診断について

- ・資格取得はおおむね良い数字。

○授業アンケートについて

- ・全体として数値が上がっているので前向きな生徒が多く、学年が進むごとに数値が上がっている。
- ・学校説明会などは盛況。去年より希望者が増えているという情報がある。

ご意見：・個人的な意見でわかりにくい先生がいるというものもあるので改善を促していくべき

- ・教員の評価では組織運営への不平不満がみられるので一丸となって発展することを願う。
- ・学校をアピールするのに広げすぎるとわかりにくい。1つに絞ってやったほうがいいのでは。
- ・保護者からの質問で資格取得についてが多いので、HPに資格支援センターから載せてもらった。
- ・制服のリニューアルをやった。これからも続けていく。
- ・就職した先の生徒さんが資格を持っていたことによって企業が助かり、企業からの感謝の声などがあればそういったものを載せるとより在学生のモチベーションになるのでは？
- ・接続のコースもあるが、パンフレット等で案内しておくこと進学希望の子も興味を持つのでは。

3. 協議（司会：金野先生）テーマ：学校教育活動を保護者にどう伝えるといいか。

- ・今年からPTAのHPを学校のHPに入れてもらった。配布されたプリントもなかなか保護者に届かないので、HPで伝えてほしい。HPは、どうみたらいいかわかりにくいという声がある。PTAのHPで保護者から見た部活動の様子などを上げたいと考えている。PTAとして発信を手伝っていく。
- ・伝えたいことと聞きたいことがずれているのではないかと。保護者の会みたいな会で担任や校長と保護者での意見の言い合い、すり合わせは必要なのではないか。伝わるまで対面でやるのが一番ではないか。
- ・小学校では担任や先生と保護者が話をする機会は多々あるが高校ではあまりない。できればそういう機会を作っておけばいいのでは。何が知りたいか意見を拾いやすいようなシステムを作るといいのでは。
- ・小学校のお母さんはlineで情報が入ってくるとか聞く。HPのリニューアルの情報などをlineでお知らせするシステムがあればわかりやすいのでは。
- ・保護者の方と顔を合わせて話をする機会や、学校からプッシュ型の発信をしていけばいいのでは。学校の教員ではしんどいのであれば教育委員会に相談してみれば？
- ・端末が一人一台渡った。去年のような自宅待機時に授業が実施できる体制を築いているのは非常に好ましい。ICTが最善と思えば生徒が授業を見てしまうだけにならないよう、過度に振り回されないように。
- ・来年大阪公立大学に変わる。寝屋川にある高専が数年のうちに中百舌鳥に移転する。堺工科と近い場所に府大高専、大学が集まる。
- ・3つのターゲットは堺・大阪がモノづくりを推す中、工科系の高校は重要になる。あの3つというのはつながっているのでどれに重点をとかでなく一つのものとして解釈して取り組んでいけばいいのでは。

4. 事務連絡

- (1) 課題研究発表会：令和4年1月31日（月）会場：本校体育館
- (2) 次回の予定：令和4年1月31日（月）課題研究発表会後

5. 閉会のあいさつ